

第 25 回ウインドサーフィン猪苗代湖横断マラソンレポート

日付： 2014 年 8 月 30 日（土）

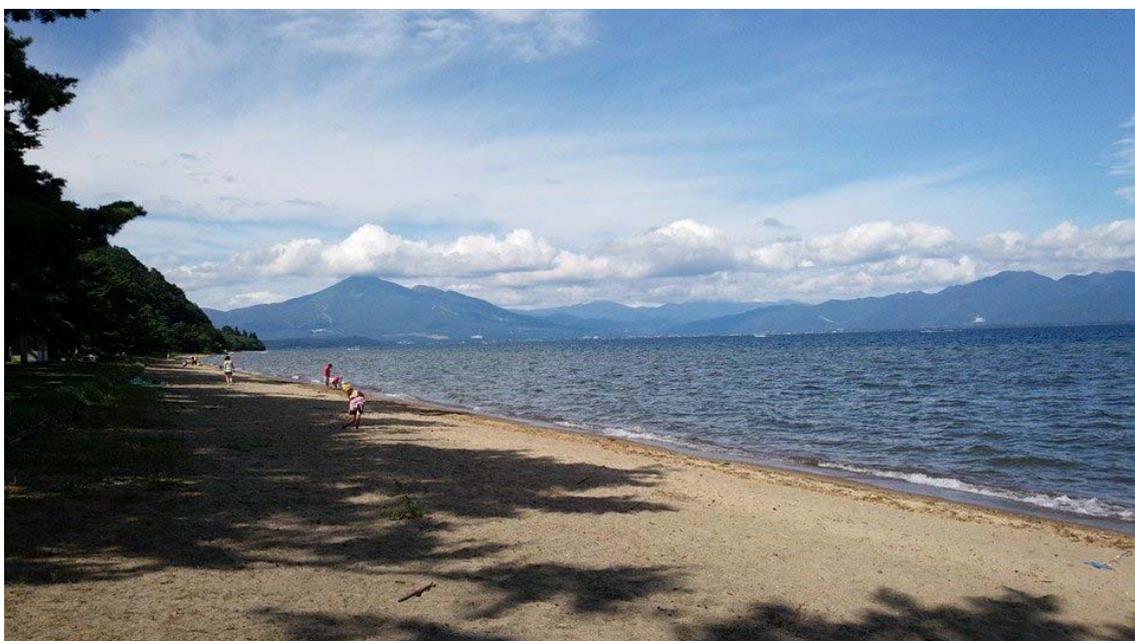
会場： 福島県猪苗代湖崎川浜湖水浴場

JWA 実業団ディビジョン

大会幹事

Philip Duncan

会場を崎川浜に移し開催された今年の猪苗代湖横断マラソンも例年通り、震災の事を考えて、"Support Tohoku" のテーマで行い、開会式では震災でお亡くなりになった方、また湖で事故に会われた方に対し、黙祷を捧げさせていただきました



会津磐梯山が良く見える晴天の中、風が5~6mに上がった13時10分、40名の選手が一斉スタート。

今回もスターターのマリッジットがアビームに設置されたスタートラインに沿って、風下から風上に向かって走り、走った跡はスタートゲートがオープンという方式を取りました。

無事、オールクリアでスタート。

<http://youtu.be/54A4uDGTSF8>

残念ながらスタート時、東南の風3mくらいに落ち、フルプレーニングスタートとはいかず、往路はダガー付ボードの選手がリードする展開に。

しかし復路では風が6~7mまで上がり、ノンダガーの選手もフルプレーニングを楽しむこ

とができました。

リタイアの選手があったものの、久しぶりのノンレスキューで15時には全選手、帰着を確認できました。

総合順位 1位はレーシング1クラスの小菅選手(1時間9分56秒)、2位はレーシング1クラス北田選手(1時間10分24秒)、3位はレーシング1クラス草野選手(1時間11分9秒)、4位はレーシング1道岡選手で、5位はレーシング1クラスダンカン選手。

ノンダガーのレーシング2クラス優勝は熊谷選手、2位庄野選手、3位富澤選手

フリーライドクラス優勝は吉井選手、2位新田選手、3位穴戸選手

今回は総合順位での年齢別表彰もあり、40歳代優勝伊藤選手、50歳代優勝道岡選手、60歳代優勝加藤選手。

そして特別表彰として最速の福島在住セイラーに贈る「ふくしま賞」は坂場選手。

総合女子は永野選手

(年齢別表彰はクラス表彰されている選手は抜いて繰り上げ表彰としています)



閉会式では優勝した元オリンピック日本代表の小菅選手とオープン参加で、インフレーターWSFで見事完走した脇元プロに総評をいただき、各クラスの表彰を行い、地元の特産物やお酒等を賞品として優勝者に授与しました。

また地元産物を直売エリアを設けて、選手の皆さんに買っていただきました。



脇元プロがノンドガーのインフレーターボードで往復できたように、コースはアビームです。普段セーリングされているフリーライドボードで横断はOKです。コースレースやスラロームの大会は敷居が高いな、という方はぜひ参加ください。なにしろジャイブ1回だけですから。



来年もレースの開催をされる予定ですので、より多くの選手の参加を今から楽しみにしております。

以上